

岩木山好き集まれ！

取材
岩木山観光協会
事務局長 小山さん



っていく若者たちが、何かをつかんだような誇らしい顔をして帰っていくのを見ると、この活動を通してしっかりと思いが伝えられていると実感でき、この活動をはじめてよかったと思う。」と話していた。

参加してみても・編集後記

岩木山エコプロジェクトとは

令和四年七月二十四日(日)、今年一回目の岩木山エコプロジェクトが開催された。このプロジェクトは、「岩木山がスキナダー！」というポスターの言葉の通り、岩木山のことが好きな人たちが集まって、みんなで岩木山をきれいにしようという活動だ。



活動を続けていくうちにそのようなゴミが捨てられているのも減っていったそうだが、しかし、未だにゴミを捨てている者がいるのが現状だ。今回の活動でも、農道脇に古いテレビや大量のタイヤなどが捨てられていた。

SDGsに即した活動

この活動は、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す「持続可能な開発目標(SDGs)」の中の目標No.12「つくる責任 つかう責任」に賛同した活動であり、小山さんは、「参加者が

観光協会事務局長の小山さん



SDGsに自分も取り組んでいるんだという意識を持ってもらえたら嬉しい」と話していた。また、「山に捨てられているゴミは、やがて川を流れて海に出て、海洋プラスチックとなり、それを食べた魚を私たちが食べると、自分たちの体に害が出てくるから、山のゴミを拾うことは、後の自分や他のいろんな人や環境の保護にもつながる」という話に、非常に感銘を受けた。小山さんは、「これからの時代を担



この活動は平成十八年に始まった。始めたきっかけは、岩木山観光協会事務局長の小山さんがアメリカから帰国してきた女性から「カリフォルニアは治安が良くはないけれどすごく街がきれいなのに、日本は治安が良くてもたくさんゴミが落ちていてきれいではないね。」と言われたことからだそう。その言葉がとても衝撃的だったため、エコ活動を始めようと思ったと話していた。活動を始めた当初



2022 岩木山エコプロジェクト



は、テレビや冷蔵庫などの粗大ゴミも多く、捨てられている場所も広く分布していたが、



私は初めてこのイベントに参加したが、周りの参加者の方々が優しく、楽しく活動できた。一時間ほどの短い時間だが、非常にたくさんゴミが見つかり、私たちが普段見ているきれいな岩木山に、こんなにもたくさんさんのゴミが捨ててあるのかと、とても驚いた。そして、「私たちはこれから、この岩木山をきれいだと思っていただけではなく、自分たちで守っていかなければならない。」と強く考えさせられる活動であった。参加者は、地元の弘前の人だったり、弘前に惹かれて移住してきた人だったり様々で、みんなとても温かい人たちなので、これを読んでくれた貴方もぜひ、参加してみてもいいだろうか。

